

会社説明会資料

◆平成30年3月期決算の概要

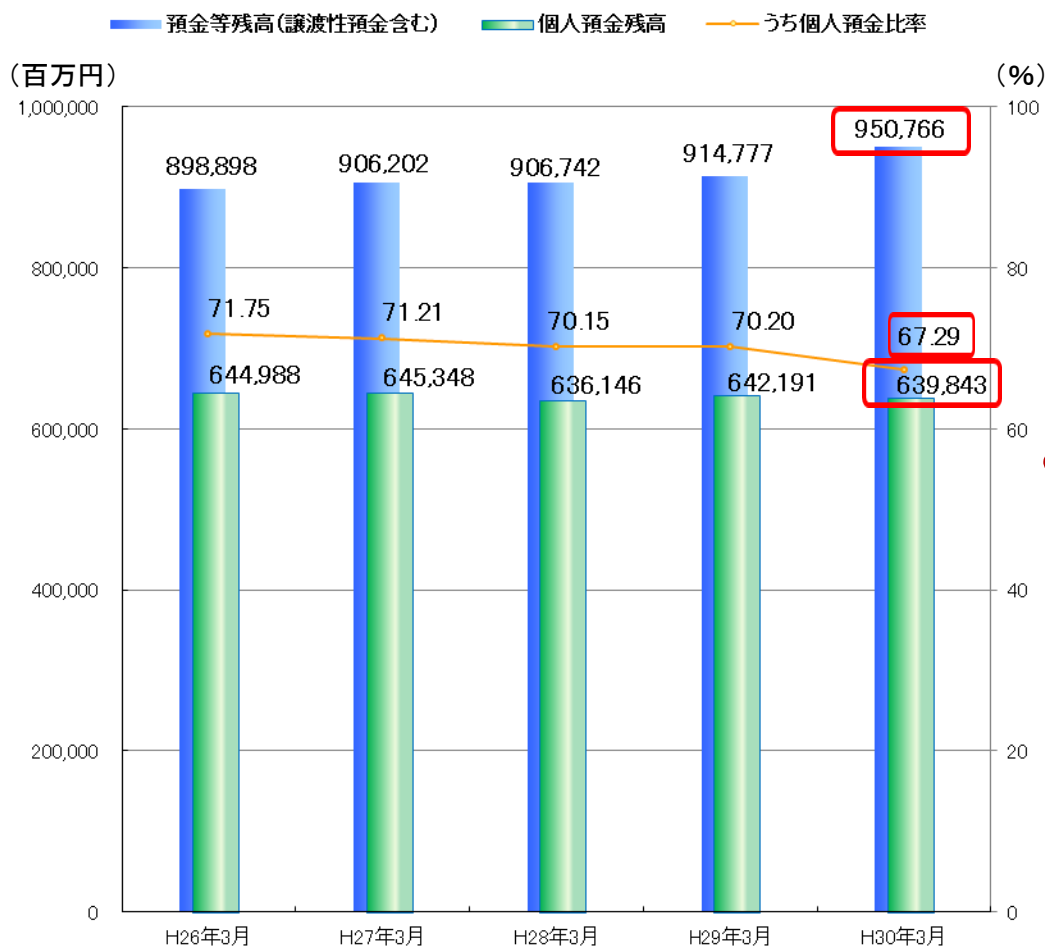
◆中期経営計画 『こうぎん新創造 第Ⅰ期:変革』

◆地域社会への貢献

1. 預金等

預金等残高の推移

地域に密着した営業活動を展開した結果、預金等の残高は前期末比359億円増加して9,507億円となりました。



	預金等残高	うち個人預金残高
平成30年3月期	950,766	639,843
平成29年3月期	914,777	642,191
平成28年3月期	906,742	636,146
平成27年3月期	906,202	645,348
平成26年3月期	898,898	644,988

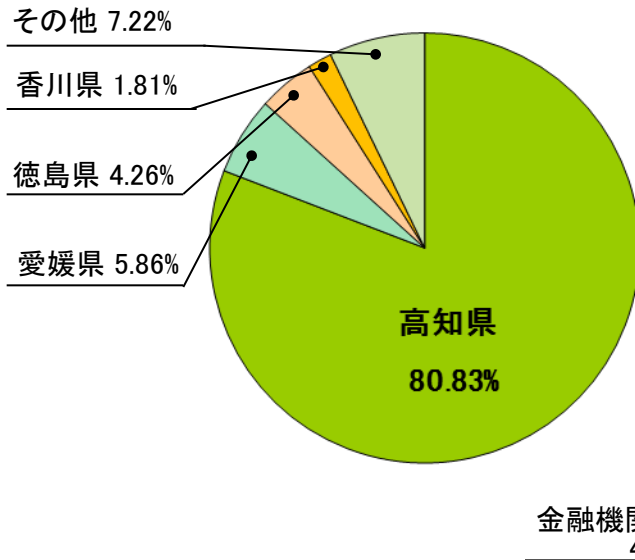
預金等残高は9年連続して増加

預金等残高に占める地元預金

預金等残高9,507億円のうち高知県内の預金等残高は7,685億円で、預金全体の80.83%を占め、また、高知県内の預金等残高のうち74.17%は個人のお客さまの預金となっております。

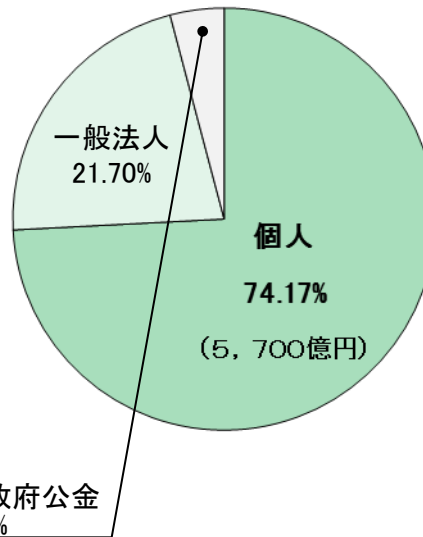
地域別預金等残高

預金等残高
9,507億円



うち高知県内預金等残高

高知県内預金等残高
7,685億円



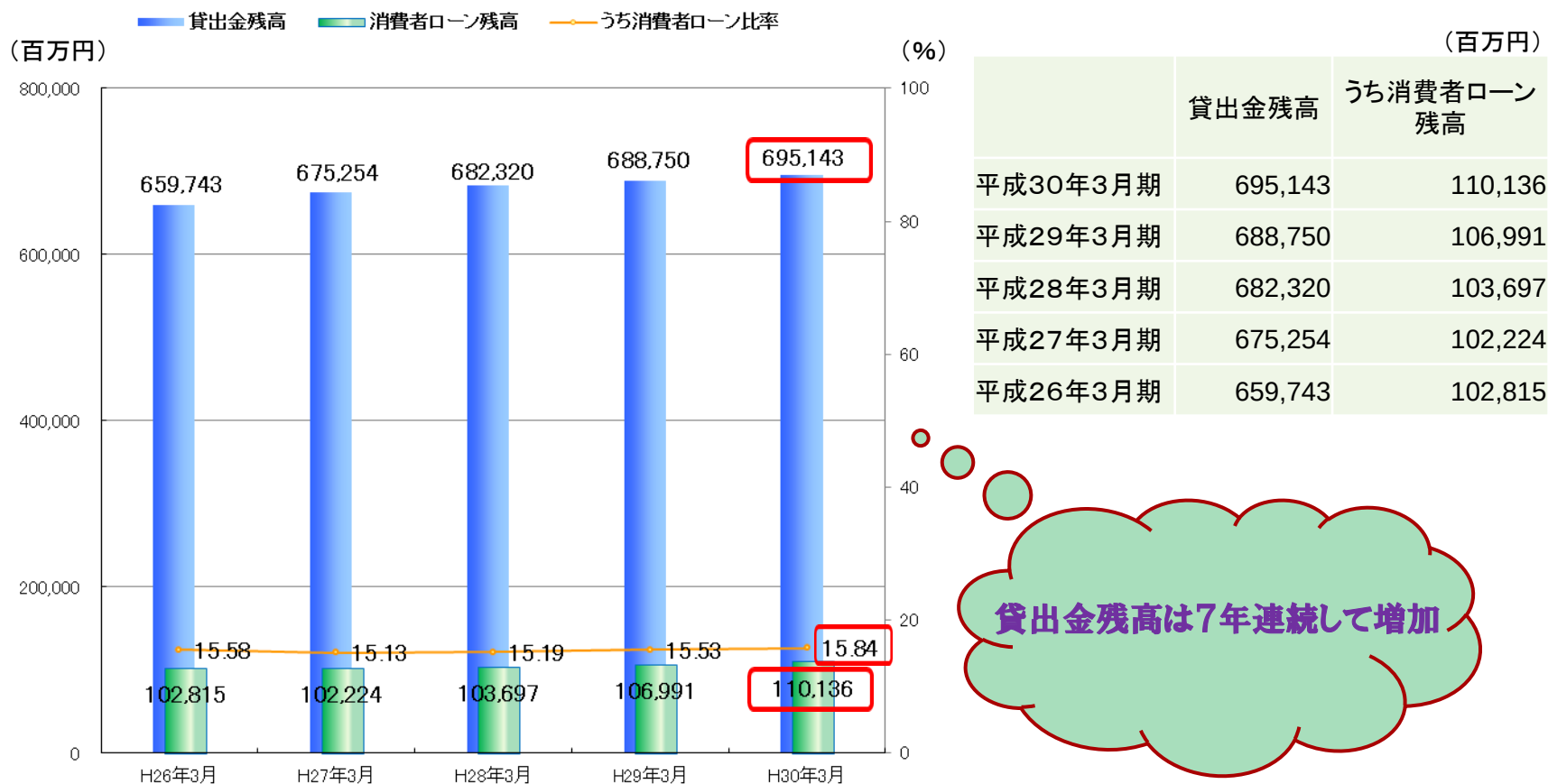
(百万円)

	預金等残高	うち高知県内 預金等残高
平成30年3月期	950,766	768,538
平成29年3月期	914,777	761,854
平成28年3月期	906,742	757,594
平成27年3月期	906,202	759,419
平成26年3月期	898,898	764,696

2. 貸出金

貸出金残高の推移

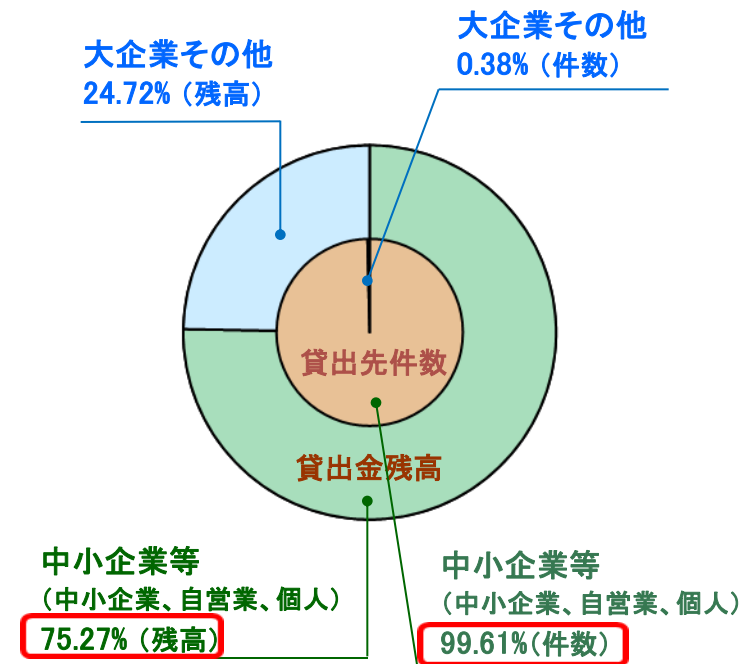
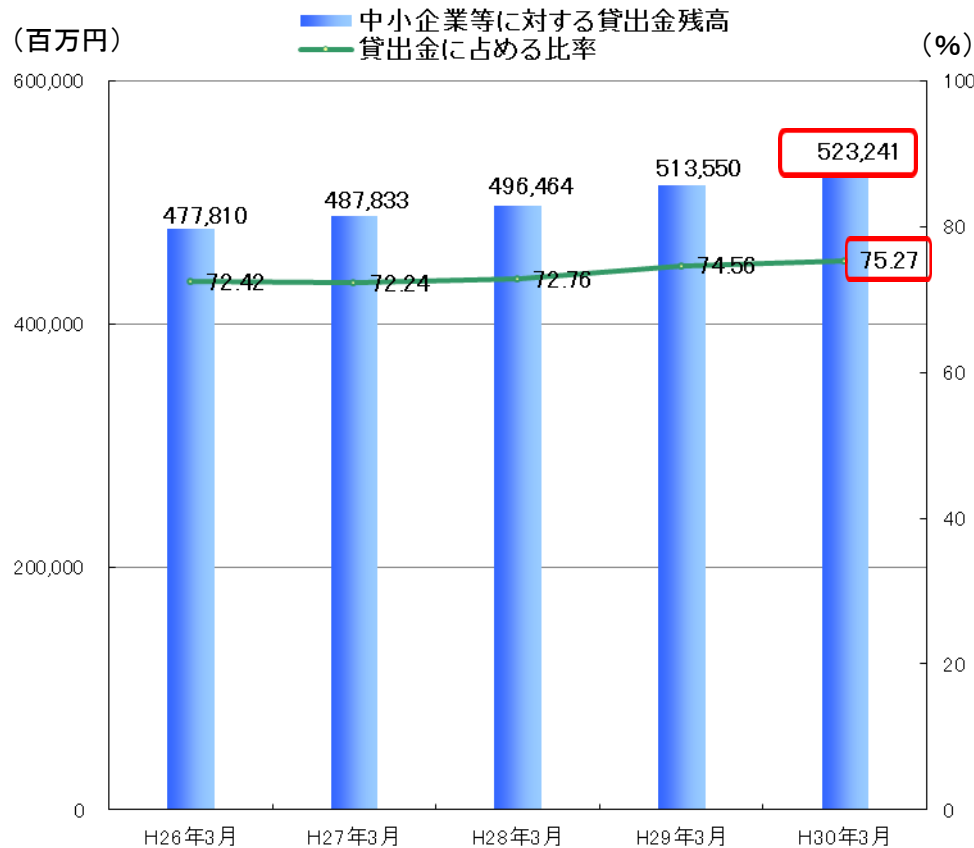
地域の中小企業を中心とする事業資金の需要に積極的に対応するなど、貸出金の増強に努めた結果、貸出金残高は前期末比63億円増加して6,951億円となりました。



中小企業等に対する貸出金

中小企業の皆さまに対する貸出金残高は、前期末比96億円増加して5, 232億円となりました。

なお、中小企業や個人のお客さま向けの貸出金残高は、貸出金の75. 27%を占めております。

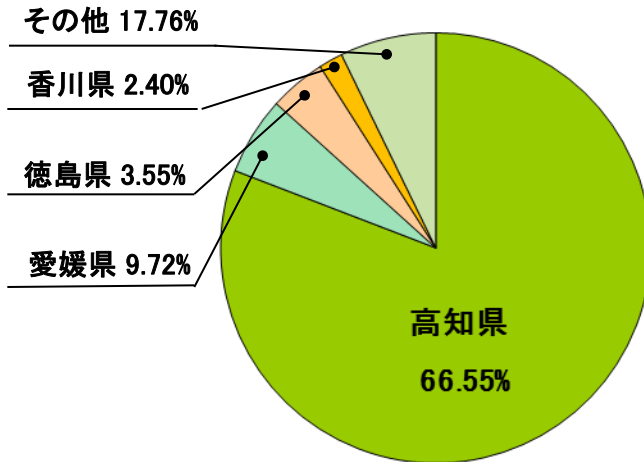


貸出金残高に占める地元貸出金

貸出金残高6,951億円のうち高知県内向け貸出金は4,626億円で、当行の貸出金全体の66.55%を占め、また、高知県内向け貸出金のうち76.71%は中小企業や個人のお客さま向けのご融資となっております。

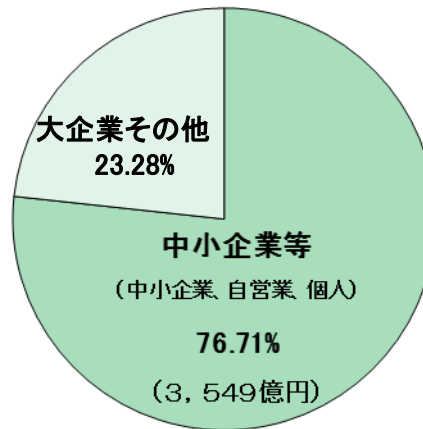
地域別貸出金残高

貸出金残高
6,951億円



うち高知県内向け貸出金残高

高知県内向け貸出金残高
4,626億円



(百万円)

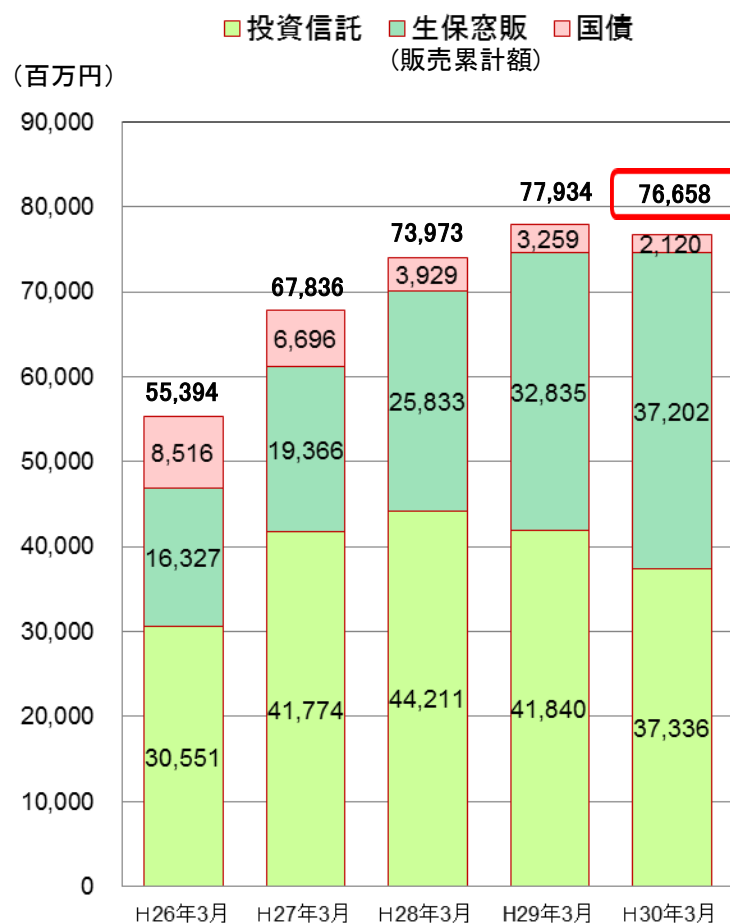
	貸出金残高	うち高知県内向け 貸出金残高
平成30年3月期	695,143	462,673
平成29年3月期	688,750	457,739
平成28年3月期	682,320	460,733
平成27年3月期	675,254	462,238
平成26年3月期	659,743	459,593

3. 預り資産

預り資産の推移

預り資産の残高は前期末比 12億円減少して766億円となりました。

また、預金・預り資産1兆円を目標に取り組んだ結果、実績は1兆274億円となり、計画を達成いたしました。



(百万円)

	投資信託	生保窓販 (販売累計額)	国 債	合 計
平成30年3月期	37,336	37,202	2,120	76,658
平成29年3月期	41,840	32,835	3,259	77,934
平成28年3月期	44,211	25,833	3,929	73,973
平成27年3月期	41,774	19,366	6,696	67,836
平成26年3月期	30,551	16,327	8,516	55,394

預金・預り資産の合計

平成30年3月期 目標:1兆円 ⇒ 実績:1兆274億円

(百万円)

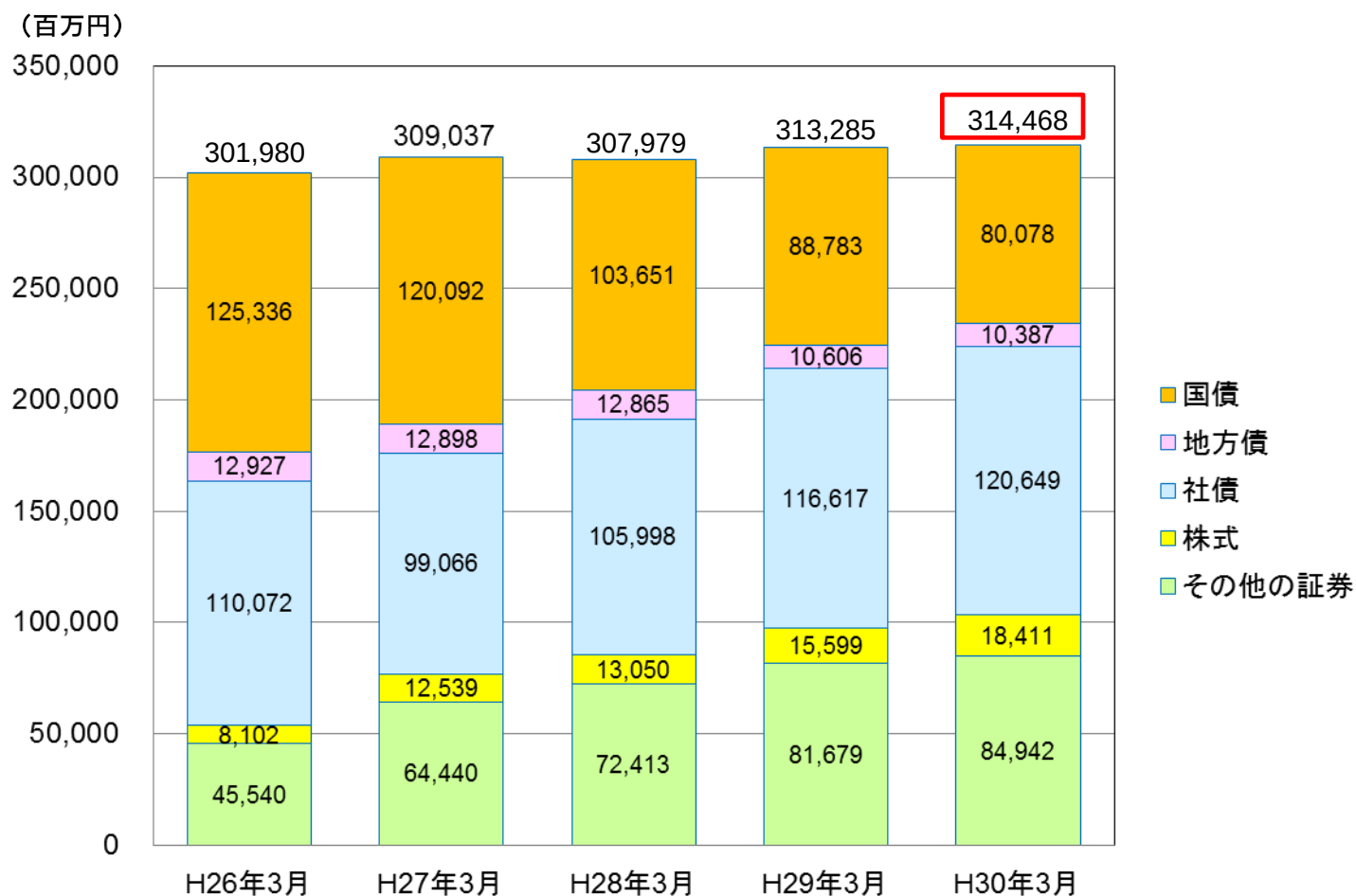
	預金等残高	預り資産残高	合 計
平成30年3月期	950,766	76,658	1,027,424
平成29年3月期	914,777	77,934	992,711
平成28年3月期	906,742	73,973	980,715
平成27年3月期	906,202	67,836	974,038
平成26年3月期	898,898	55,394	954,292

4. 有価証券

有価証券残高の推移

有価証券残高は、前期末比11億円増加して3,144億円となりました。

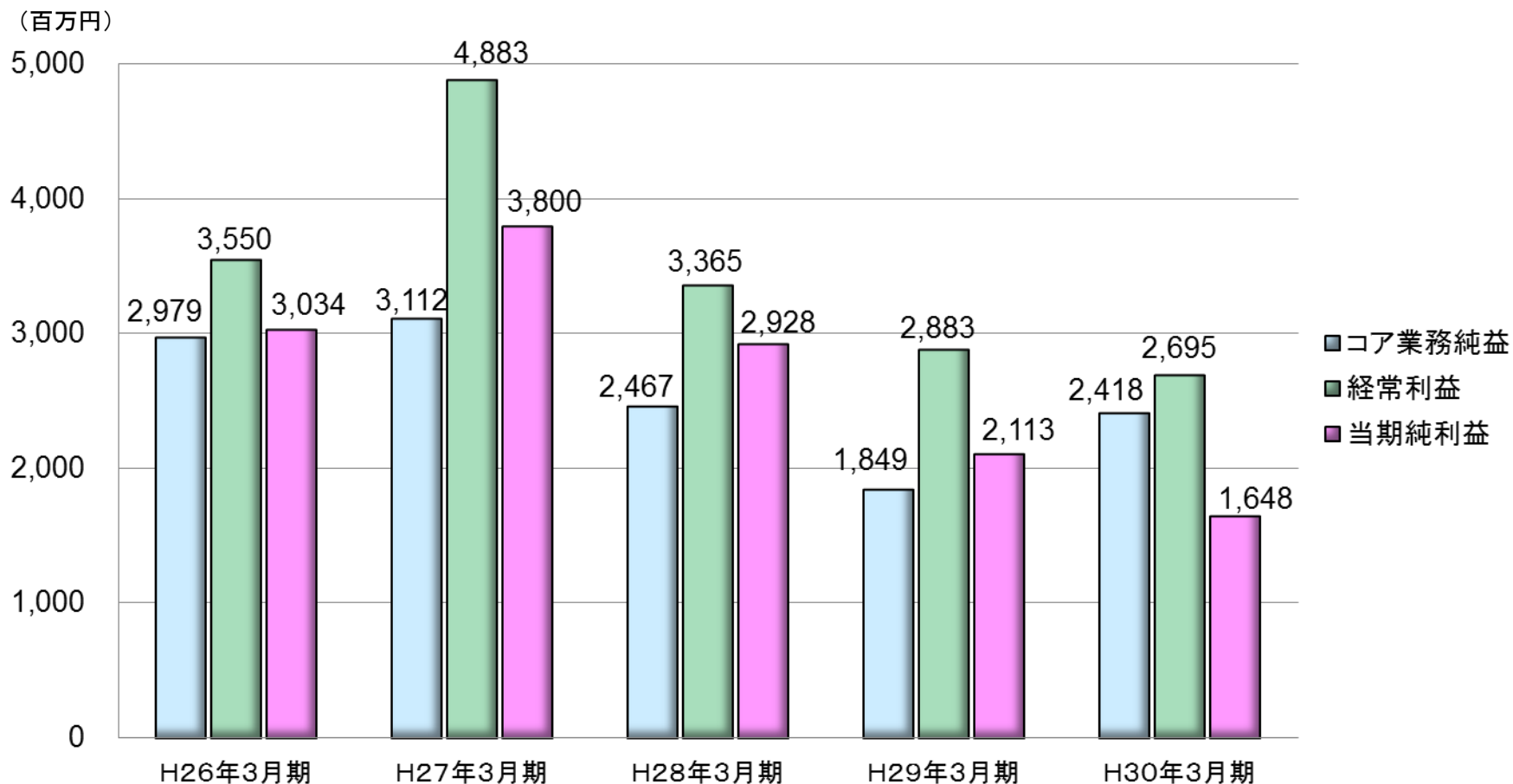
また、有価証券の評価損益は、前期末より6億90百万円増加して95億17百万円の評価益となりました。



5. 損益状況

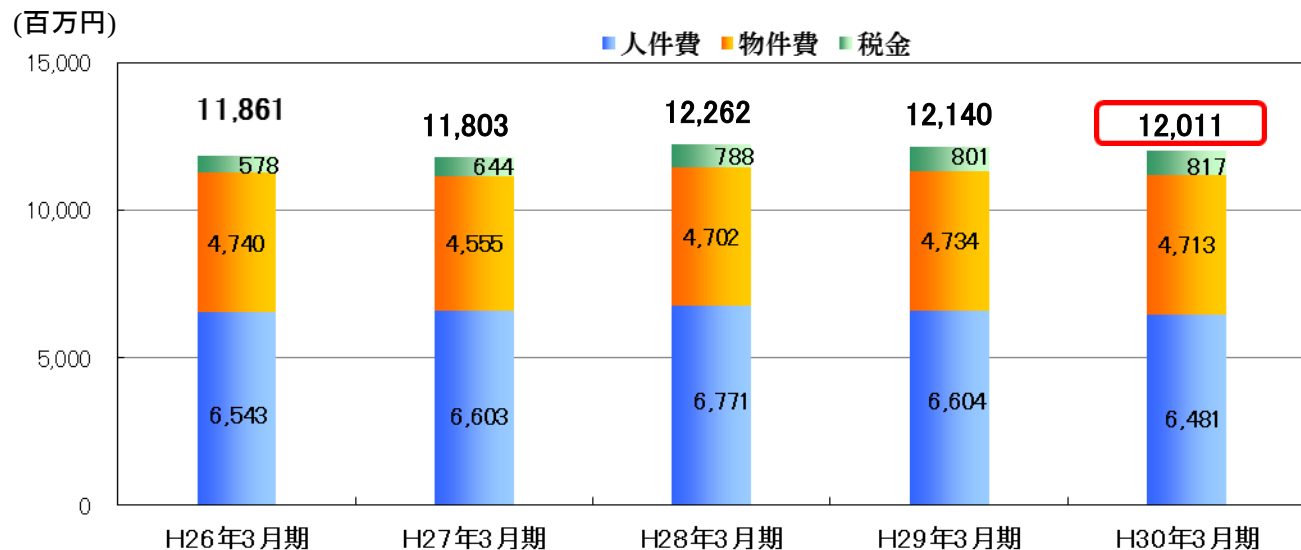
コア業務純益・経常利益・当期純利益

地域に密着した営業活動を展開し、業績の向上と経営体質の改善強化に努めた結果、コア業務純益は24億18百万円、経常利益は26億95百万円、当期純利益は16億48百万円となりました。



経 費

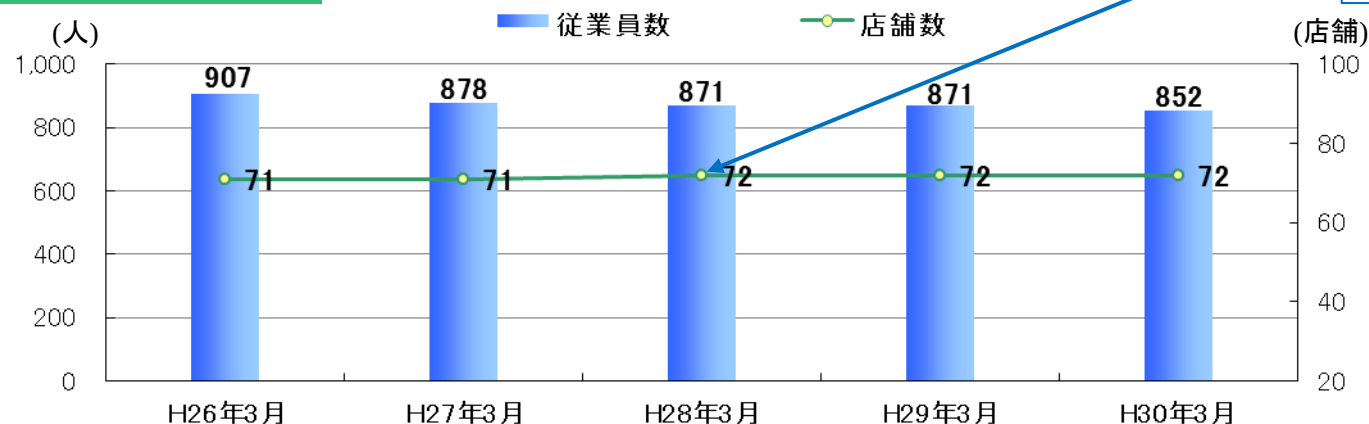
平成30年3月期の経費合計は、前期より1億29百万円減少して120億11百万円となりました。



平成27年5月25日開店



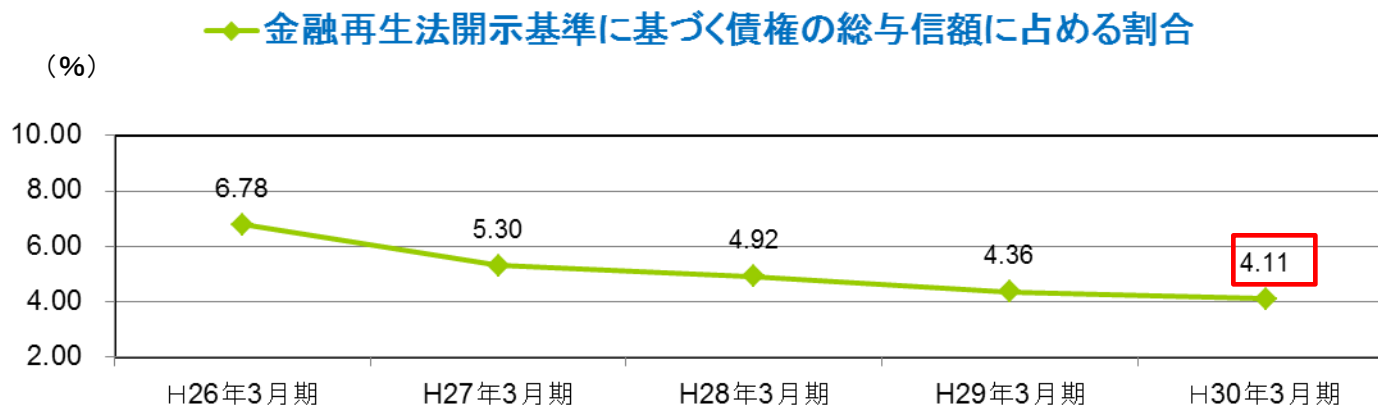
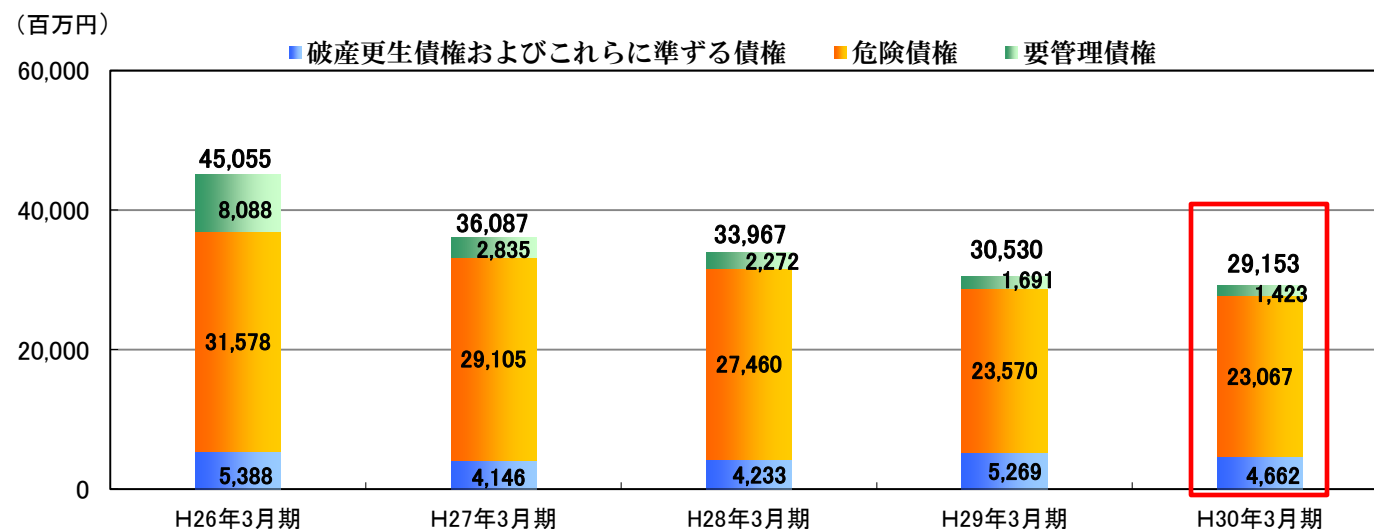
従業員数・店舗数



※ 従業員数は就業人員数であり、嘱託および臨時従業員を含んでおりません。

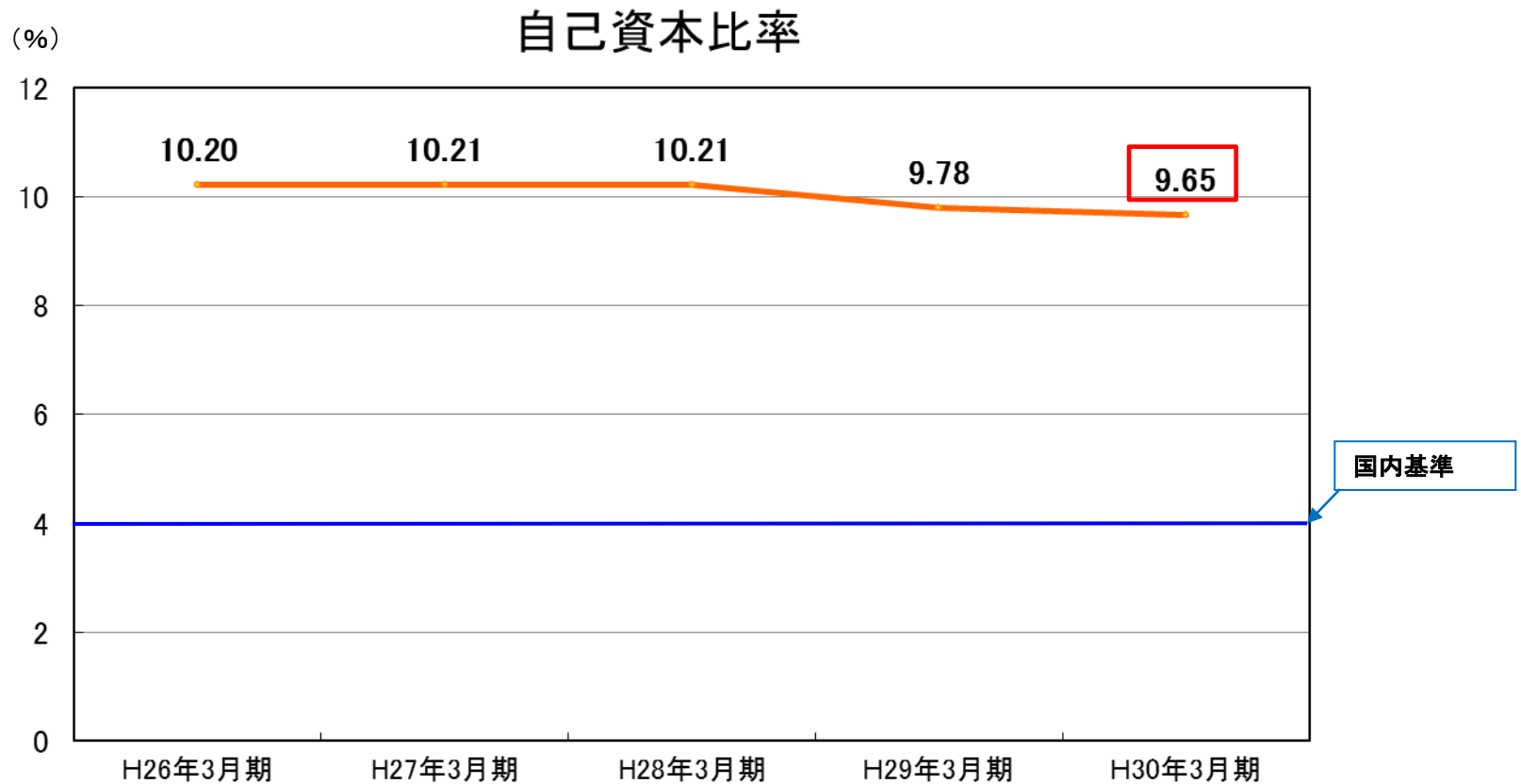
6. 金融再生法開示債権の状況

金融再生法開示基準に基づく債権の合計は、前期より13億77百万円減少して291億53百万円となり、開示債権比率は前期比0.25ポイント低下して4.11%となりました。



7. 自己資本比率

経営の健全性の重要な指標とされる自己資本比率は、前期より0.13ポイント低下して9.65%となりました。



8. 中期経営計画

「こうぎん新創造 第Ⅰ期：変革」

計画期間 2018年4月～2021年3月

経営目標

- ☆お客さまにとって…役に立ち信頼される銀行
- ☆株主にとって……健全で企業価値の高い銀行
- ☆地域社会にとって…使命を果たし発展に貢献する銀行
- ☆職員にとって……働きがいがあり夢と希望を実現できる銀行

10年後の目指す姿「地域の価値向上に貢献する金融インフラ」 ～こうぎんの目指すベスト・リージョナル・コラボレーション・バンク～

- 地域密着型金融を深化させ、付加価値の高い金融サービスを提供することで、お客さまの価値向上をサポートする
- 地域全体の価値向上を提案し、その活動を支援する金融インフラとなる

2024-2026年度

新創造第Ⅲ期

「飛躍」地域の価値向上実現と持続的成長モデルへの改革

2021-2023年度

新創造第Ⅱ期

「進化」刷新された“こうぎんブランド”の定着と財務力向上

2018-2020年度 中期経営計画

新創造第Ⅰ期

「変革」地域の価値向上に向けた創造的な経営モデルに転換

持続的成長に向けた価値追求へ

著しい変化が予想される金融環境のもと、業務効率の向上、付加価値の拡大により持続的な成長を実現

金融機関を取り巻く環境の変化

メインマーケットの縮小
顧客の世代交代
人材多様化と高度化要請
金融テクノロジーの高度化

基本方針

地域密着型
金融の深化

高付加価値
サービスの
提供

生産性の
向上

基本戦略

【営業戦略】

- BPR効果の最大化と営業基盤の強化
- 事業性評価に基づく融資の増強
- 個人取引の強化
- 顧客接点の拡大と店舗間連携の強化

【経営基盤戦略】

- 人材力の最大発揮
- 経営基盤の強化

○ 前中期経営計画の主要計数目標と実績

(単位: 百万円)

コア業務純益		27年3月期	28年3月期	29年3月期	30年3月期
	計 画		3,114	3,203	3,386
	実 績	3,112	2,467	1,849	2,418
	計画対比		△ 647	△ 1,354	△ 968

※ コア業務純益(業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益)

(単位: %)

業務粗利益経費率		27年3月期	28年3月期	29年3月期	30年3月期
	計 画		69.10	68.18	67.79
	実 績	67.96	69.07	72.45	73.00
	計画対比		△ 0.03	4.27	5.21

※ 業務粗利益経費率((経費 - 機械化関連費用) ÷ 業務粗利益)

(単位: 億円)

当期純利益		27年3月期	28年3月期	29年3月期	30年3月期
	計 画		16	15	15
	実 績	38	29	21	16
	計画対比		13	6	1

(単位: %)

自己資本比率		27年3月期	28年3月期	29年3月期	30年3月期
	計 画		10.4%程度	10.4%程度	10.4%程度
	実 績	10.21	10.21	9.78	9.65
	計画対比		△ 0.19	△ 0.62	△ 0.75

9. CSR活動への取り組み

地域社会の持続的な発展

高知銀行の持続的な発展

CSR活動の重点テーマ

地域活性化

社会貢献

働きがいのある職場

株主
さま

高知銀行
経営目標

お客
さま

職員

地域
社会

経営理念・コーポレートガバナンス

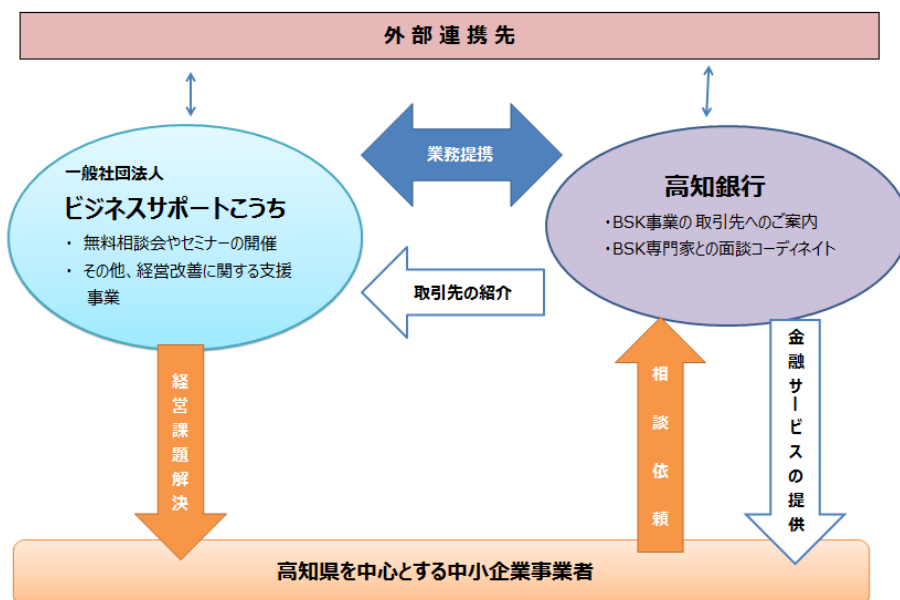
◆ 地域活性化への取り組み

中小企業支援体制を強化・・・「ビジネスサポートこうち」との連携支援

当行は、高知県内の弁護士・税理士・司法書士等で構成された一般社団法人ビジネスサポートこうち（以下、BSK）と「業務連携・協力に関する覚書」を平成30年4月11日に締結いたしました。

当行は、BSKの設立趣旨に賛同し、立ち上げから深く関与させていただいており、相互に連携・協力し、税制や法律面などの専門家にサポートいただきながら、地域の中小企業者の皆さまの事業承継や相続対策支援、経営改善支援等に取り組むことで、地域経済の活性化に貢献してまいります。

また、7月6日には、BSKとの共催による中小企業事業者向けセミナー「会社の未来を考える」を開催し、約80名の皆さまにご参加いただきました。



中小企業事業者向けセミナー

各種商談会への出展支援

高知県の地産外商支援への取り組みの一環として、高知県や高知県地産外商公社等をはじめとした各種商談会の共催や出展支援を通じて、お取引先企業の新たな販路の開拓等のサポートに取り組んでおります。

商談会の名称	出展支援状況等	開催時期
地方創生「食の魅力」発見商談会2018(第8回)	第二地方銀行協会加盟行 30行	平成30年6月
薩長土肥連携首都圏バイヤー商談会	南日本銀行、東山口信用金庫、幡多信用金庫、佐賀共栄銀行、大和証券と共催	平成30年1月
第52回 スーパーマーケット・トレードショー2018	高知県、高知県地産外商公社、四国銀行	平成30年2月
第43回 FOOD EX JAPAN 2018	高知県、高知県地産外商公社、四国銀行	平成30年3月



地方創生「食の魅力」発見商談会2018



薩長土肥連携首都圏バイヤー商談会

こうぎん地域協働ファンドの支援体制を強化

創業支援や新規事業展開、ベンチャー企業の育成支援ならびに地域経済活性化や産業振興に資する事業者の成長に向けた支援を行うことを目的として、当行および株式会社地域経済活性化支援機構の子会社であるREVICキャピタル株式会社ならびに当行の連結子会社であるオーシャンリース株式会社と共同で、「こうぎん地域協働投資事業有限責任組合（通称：こうぎん地域協働ファンド）」を平成28年4月に設立し、地域事業者の皆さまの事業展開をサポートしております。

平成29年12月には、ファンド総額を3億円増額して6億円とし、支援体制を強化しております。なお、これまでに投資した案件は5件となりました。



「しこく中小企業支援ファンド」を組成

当行をはじめとした四国4県の地域金融機関や信用保証協会および中小企業基盤整備機構は、平成30年3月29日に「しこく中小企業支援ファンド」を組成いたしました。

ファンド総額は30億円で、官・民・地域一体となって中小企業の再生支援と地域経済活性化に向けて取り組むことを目的としております。

ベンチャー企業への出資

平成29年8月には、株式会社産業革新機構と共同で、AI対話システム開発のベンチャー企業1社に対し、出資を行いました。
今後も優れた技術や新商品を持つベンチャー企業等の事業展開を積極的にサポートしてまいります。

クラウドファンディング事業の活用

当行の連結子会社であるオーシャンリース株式会社は、平成28年4月に「FAAVO高知」を開設してクラウドファンディング事業に取り組んでおります。
当行は、オーシャンリース株式会社と連携してクラウドファンディング事業を活用した新たな資金調達手法を提供していくことで、起業や新商品開発などの事業をサポートしております。



◆ 社会貢献活動への取り組み

「志国高知幕末維新博」を応援

当行は、「志国高知幕末維新博」のオフィシャルパートナーとして協賛しておりますが、この博覧会を応援するため、平成29年10月より「幕末維新博応援定期」を発売してまいりました。

このたび、同預金の販売残高の0.0014%相当額となる約40万円を、平成30年4月24日に、志国高知幕末維新博推進協議会の運営資金として寄付させていただきました。



こうぎん 幕末維新博 応援定期

お申し込み期間 平成29年10月16日～平成30年2月28日水

ご利用いただける方 個人のお客さま ※個人事業主のお客さまも対象としています。

自由金利 定期預金 年 **0.07%** (特約付 0.055%)

プラス **0.07%** 上乗せ

年 **0.14%** (特約付 0.11%)

「赤十字サポーター」に認定

当行は、日本赤十字高知県支部より、日本赤十字社の事業・活動を積極的に支援、協力する企業と認められ、平成30年3月8日に「赤十字サポーター」の認定を受けました。赤十字サポーターの取り組みの一環として、輸血用血液が不足しがちとなる5月に、当行役職員約60名による献血活動を実施しました。当行は、これからも、地域社会への貢献に向けて、様々な取り組みを進めてまいります。



産学連携による地域教育活動 《シーズ発表会》

高知工業高等専門学校が保有している研究技術(シーズ)を県内事業者を紹介し、共同研究や事業化への発展につなげていくことを目的とした「シーズ発表会」を、平成18年より毎年開催しております。商品化に向け企業との共同開発が進展している案件もあるなど、情報交換や技術相談の場として高い評価をいただいております。



産学連携による地域教育活動 《こども金融・科学教室》《こどもサッカー教室》

地域の子どもたちを対象に、高知工業高等専門学校との共催による「こども金融・科学教室」や高知大学との共催による「こどもサッカー教室」などのイベントを毎年開催しております。



◆ 働きがいのある職場づくりへの取り組み

「子育てサポート企業」「女性活躍推進企業」に認定

当行は、平成29年6月22日付で厚生労働大臣より、次世代育成支援対策推進法に基づく「プラチナくるみん認定」を受けたほか、平成29年9月29日には高知労働局より、女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づく認定マーク「えるぼし」（最高位の3段階目）を取得いたしました。

これからも、ワークライフバランスや人材育成を重視して、職員が仕事と子育てを両立しながらその能力を発揮できるよう、職場環境の整備を進めてまいります。



健康経営宣言を制定

当行は、職員及びその家族の健康が、地域社会の発展と当行の成長に欠かせない要素であることから、健康経営をより一層推進していくため、平成30年6月に「健康経営宣言」を制定いたしました。

この宣言では、職員が心身ともに健康でその能力を最大限に発揮していきいきと働けるよう、健康の維持、増進に取り組むこと等を表明しており、健康経営により当行の持続的な成長を実現し、良質な金融サービスの提供を通じて、健康で活気に溢れた地域づくりにも貢献してまいります。

TOPIX

インターネット投資信託サービスを開始

パソコンやスマートフォンで、投資信託のお取引や残高照会などを原則24時間365日いつでもご利用いただけるサービスを、平成30年2月20日から開始いたしました。

また、「インターネット投資信託スタートキャッシュバックキャンペーン」を平成30年9月28日まで実施しております。

「こうぎん外為 Web サービス」を開始

法人および個人事業主のお客さまの海外ビジネス等に関するサービスをより一層向上させるため、「こうぎん外為 Web サービス」を平成30年1月15日から開始いたしました。

これにより、お客さまはオフィスなどからインターネットで為替予約の照会や締結がタイムリーにご利用いただけるほか、外国送金や輸入信用状開設のお申込みなどをご利用いただけるようになりました。

「LINE Pay」への電子マネーチャージサービスを開始

コミュニケーションアプリ「LINE (ライン)」上で展開する“スマホのおサイフサービス”「LINE Pay」に、当行の口座をお持ちのお客さまがチャージできる機能のサービスを平成29年6月30日より開始いたしました。

はじめるなら、今がチャンス。

インターネット投資信託スタート キャッシュバックキャンペーン

インターネット投資信託の
申込手数料は
店頭販売の
20%OFF
積立投資信託は
ありません。

キャンペーン期間 平成30年2月20日(火)～平成30年9月28日(金)

対象となる
お客さま

キャンペーン期間中、初めてインターネット投資信託を利用して
①投資信託10万円以上ご購入いただいた方 または
②新規に毎月5千円以上の積立投資信託をご契約いただいた方

先着
1,500
名様に **2,000円** キャッシュバック!

さらに
先着
500
名様に **2,000円** キャッシュバック!

上記対象のお客さまの中で、キャンペーン期間中に投資信託口座を新規開設された方には
(投資信託口座自体を新規で口座開設し、目次インターネット投資信託口座を開設された方)

「インターネット投資信託スタートキャッシュバックキャンペーン」ご留意事項

対象商品	○投資信託(10万円以上) ○積立投資信託(毎月5千円以上)
取扱店	全営業店(よさこいおきやく支店は除く)

○平成30年2月20日から平成30年9月28日のキャンペーン期間中に注文処理が完了した投資信託を対象とさせていただきます。
○キャッシュバックは、投資信託指定預金口座に平成30年11月中旬に入金する予定です。入金日に投資信託指定預金口座が解約されている場合、対象の積立投資信託が10月末時点で解約されている場合はキャッシュバックの対象外とさせていただきます。
○キャッシュバック金額は、税法上の確定申告が必要となる場合があります。くわしくは税理士またはお近くの税務署へお問い合わせください。
○キャンペーン内容は、期間中でも予告なく変更・中止させていただくことがあります。
○投資信託には元本割れ等のリスクや手数料等の注意点が 있습니다。必ず商品の「投資信託についてのご案内事項」をお読みください。

インターネット投資信託およびキャンペーンについては、
当行本支店窓口または下記フリーダイヤルまでお気軽にお問い合わせください。

あしたを元気にいっしょに
高知銀行
高知 株式会社高知銀行(登録金融機関)
登録番号: 四国投資信託(登録)第8号 加入協会: 日本証券業協会

こうぎん
インターネット投資
ヘルプデスク

(フリーダイヤル)
0120-757-565
(ホームページ)
<https://www.kochi-bank.co.jp>

(平成30年2月1日現在)

帯屋町支店を移転

帯屋町支店は、平成26年9月より仮店舗で営業してまいりましたが、平成29年12月11日より新店舗に移転して営業を開始いたしました。新店舗は高知市中心商店街に位置しており、同商店街の活性化をサポートしていけるよう、窓口営業時間を平日午前10時から午後4時までとしたほか、土日祝日も利用可能な全自動貸金庫を備えております。

清水支店を移転

清水支店は、南海トラフ地震による津波発生時に備え、迅速な金融サービスの復旧とお客さまの資産をお守りするため、現店舗北部の高台へ新築移転し、平成30年8月27日より営業を開始いたします。

移動金融車を導入

お客さまの利便性向上と災害発生時に備えることを目的として、銀行窓口機能とATMなどを備えた移動金融車を導入し、平成29年8月16日より営業を開始いたしました。

店舗ネットワークの拡充

店外ATMの新設

島津病院出張所

平成30年2月5日設置

サニーマート山手出張所

平成30年5月24日設置



帯屋町支店



移動金融車

平成31年3月期 第1四半期決算の主要計数

(百万円)

〔単体ベース〕	平成30年3月期 第1四半期 (H29.6.30)	平成31年3月期 第1四半期 (H30.6.30)	比較
預金等残高	915, 730	933,031	17,301
貸出金残高	672, 276	678,452	6,176
業務粗利益	3, 504	3,557	53
コア業務純益	643	470	△173
経常利益	1, 022	940	△82
四半期純利益	721	645	△76
経費	2, 988	2,962	△26
不良債権比率	4. 40%	4.17%	△0.23ポイント
自己資本比率	10. 02%	9.90%	△0.12ポイント

本資料には、当行グループの将来の業績、経営目標などに関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、不確実性を内包するものです。将来の業績は、経営環境の変化等により異なる可能性があることにご留意ください。本資料は決算の概要や経営方針等についてのご案内を目的としており、取引の推奨あるいは勧誘を目的とするものではありません。

お問い合わせ先

株式会社高知銀行 経営統括部

TEL:088-822-9311 FAX:088-871-7121

URL:<http://www.kochi-bank.co.jp/>

E-mail:kouhou@kochi-bank.co.jp

